

MICHIGAN STATE UNIV. ALUMNI CLUB OF JAPAN

NEWS LETTER Vol.16 Dec. 2005

☎105-0004 東京都港区新橋 3-22-1 川崎陸送株式会社内
☎ 03-5473-0151 FAX 03-5473-0152 e-mail: SGB00033@nifty.ne.jp

代表幹事ご挨拶

今井哲哉

同窓会会員の皆様お元気ですか。 早いものでMSU創立150周年の年もそろそろ終わりを迎えようとしています。キャンパスでは数々の記念行事が行われ、それを機会に多くの方がキャンパスを訪問されたとお聞きしております。特に10月8日のスパルタン像除幕式には私も出席したかったのですが、都合が付き原さんにお願いしました。

これは長年の風雨や、UofM によるペンキ攻撃で痛みの激しいセラミック製の旧スパルタン像を修復し、スパルタン・スタジアムに連結して新築した同窓会本部等が入る建物のロビーへ移し、元の位置には新たに鑄造したブロンズ製の像を建てるというものです。

前回お知らせしたように、日本同窓会では同窓会本部からの求めに応じてこのプロジェクトに昨年\$500を寄付しました。この額が海外からのものとしては最大とのことで、除幕の式に参列するようにご案内を受けておりました。同日には150周年記念のパレードもありました。

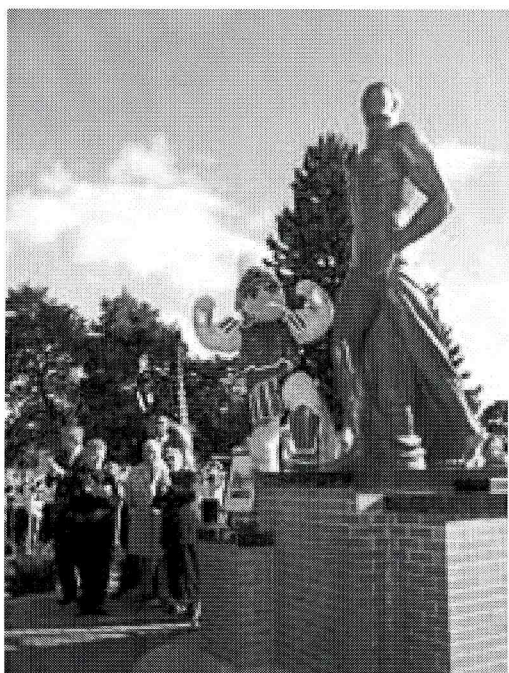
本年の総会は6月26日に首相官邸前のキャピトル東急ホテルで、新学長のサイモン女史をお迎えして開催しました。MSUからはAsian Study Center所長のマイケル・ルイス氏、女性のファカルティメンバー2人とデベロップメントの女性職員の計四名が同行されました。残念ながら日本側の出席者は40名ほどに止まりましたが、その分ほとんどの方が学長一行と言葉を交わすことができ、共にご満足いただけたと

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan



思います。学長からは今後ともランド・グラント・カレッジの理念を踏まえて更なる発展を目指すという、力強いメッセージが発せられました。

学長の外遊は就任後初めてのものです。当初日本以外にもアジアを歴訪する構想を持たれていましたが、ミシガン州の厳しい財政状況の中で次年度予算に関して州政府、議会との交渉が難航しているようで、4日足らずの滞在で3名を日本に残しミシガンにとんぼ返りされました。サイモン新学長は中西部の大学内でのみキャリアを積まれてきた方であり、まれに見る海外経験を誇った前学長の始められた国際化路線を、はたして今後も継承できるかと私は危惧しておりました。そのことが杞憂であることを、忙しいスケジュールの間を縫って約束を果たすことで、示していただけたような気がします。

サイモン新学長は滞在中東京農大を訪問されたのをはじめ、姉妹校関係者との懇談等を精力的にこなされました。私は来日に先立ってアドバイスを求められた際「日本の大学は公立私立を問わず転換期を迎えている。独立採算、各種大学院、生涯教育といったMSUが過去取り組んできた数々の事例と、教育学部で学校運営の分野で研究業績を上げられたサイモン女史の専門知識は、日本の大学関係者にとって示唆に富むものと思われる。これを機会に必ずしも円滑に推移していると思えない姉妹校との協力関係を再構築できれば、来日は意義深いものになるのでは・・・」と申しました。学長はその方向で日程を組まれたようでいささか恐縮しております。

ところで我々全学的な同窓会とは別に、ホスピタリティビジネス学科の同窓生皆さんが学科としての同窓会を創設され、先ごろホームページも完成しました。この会の結成を呼びかけられたのは、MSU在学中に「ホテル経営学ドットコム」という、いまや業界では知らない人がいないホームページを立ち上げられた若い同窓生方です。立教大学前観光学部長の岡本教授が「あのホームページを創られた皆さんならぜひ応援したい。」と代表に就任されました。詳細は当会のホームページ・リンクからご覧ください。日本同窓会ではこのような学部単位の集まりも積極的に支援していきたいと考えております。

最後になりますが稲葉隆さんのことをお伝えします。稲葉さんは私の記憶では1979年から今年の初めまで四半世紀をMSUで過ごされました。このニュースレターを受け取られる皆様の過半数と重なっているわけですが、どなたにお知らせすればよいのかはつきりしませんのでこの場をお借りします。奥様の久子さんからいただいたメールの一部を引用します。「ミシガン州立大学院研究員、マサチューセッツ工科大学研究員 稲葉 隆 が2005年8月12日に長年の闘病生活を経て永眠しました。享年55歳でした。稲葉 隆は労使関係、労働問題、労働学習環境、セクシュアルハラスメントなどにおいて、合衆国労働事情を日本に紹介することに力を注いでおりました。」ご本人は5年前に病気から奇跡的に生還されたこと、今年初めに再発し帰国され、奥様の郷里である長野県で闘病されていたことなどを、あえて皆さんに伏

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

せておられました。まるで兄妹のようなご夫婦でした。久子さんをご存知の方はぜひ励ましのお言葉をかけていただきたく思います。

MSUでは200年に向けての新たな50年のスタートが切れようとしています。来るべき年が皆様にとって実り多きものでありますことをお祈りいたします。

「50 代後半の挑戦?工学系博士号」

吉田 總一郎

昨年9月30日に信州大学工学部より博士号を取得することができました。学位記には、「信州大学大学院工学系研究科材料工学専攻において所定の単位を取得し、学位論文の審査及び最終試験に合格したので、博士（学術）の学位を授与する」と書かれております。

博士（学術）とは、所謂“Ph.D.”（ピー・エイチ・ディー）のことで、工学部からの学位としては工学、理学、学術の3つの中から指導教授と相談の上、選択できることになっております。私の論文の内容が、工学、経済学、環境学の擦り合せによるものであることと、今後の事業領域への適用を考えた上で、博士（学術）としたわけです。最近、学位の表記が変わり、例えば、これまで工学博士と表記したものは博士（工学）となります。

よく文系、理工系の2つのどれかに人を区分けすることが多いのですが、私のように修士まで経済学しか学んだことのなかった者による工学系での研究は、まさに「怖いもの見たさ。」と好奇心マインドであったことは確かでした。化学の全くの初歩からはじめ、膨大な海外の資料、携わった数々の実験（外注も含め）、5人の教授チームによる何度かの審査、論文の発表（発表とディフェンディング）、学内外での評価及び判定会議など、今、振り返ると、昼間は仕事、夜は10時から朝2時まで仮眠、そして犬の散歩、7時の朝食まで執筆、という積み重ねの毎日だったことが、つらい思いより、むしろ、何か全く新しい地平を拓くという気概が力を与え続けてくれたように思い出しております。

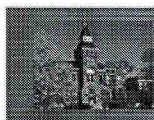
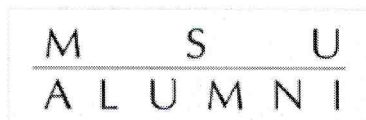
今後は“Dr.Diesel”として、地球温暖化防止のためのディーゼル燃料車の性能PR、ディーゼル燃料の環境性能向上、バイオディーゼル燃料の新触媒による環境負荷低減製法の開発に向け、博士号取得は、そのためのまず第1歩と銘じて研究と事業への展開に向け歩んでゆきたいと思います。

よく外国の書籍の巻頭に“Acknowledgement（出版にあたり、協力者への謝辞）”がありますが、今回の論文によっても最後の頁に謝辞を述べるのが通例でした。その中で、指導にかかわって下さった教授団と実験や資料整理に力になっていただいた方々に加えて、家族の、言葉に言いあらわせない協力に対し、感謝の念は禁じえません。謝辞の最後の2行を引用して報告とさせていただきます。

「最後に、入学時から暖かい声援を送り続けてくれた、80才を超えた母、妻 Carole、そして長女佳代、長男和生にも心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。」

2005年5月23日

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>



Michigan State University Alumni Club of Japan

氏名(本籍・生年月日)	吉田 総一郎 (東京都 昭和 20 年 11 月 12 日)
学位の種類	博 士 (学術)
学位記番号	甲 第 37 号
学位授与の日付	平成 16 年 9 月 30 日
学位授与の要件	信州大学学位規程 第 5 条第 1 項該当
学位論文題目	バイオディーゼルの合成と利用に関する研究
論文審査委員	主査 教 授 大石 修治 教 授 北島 罔夫 教 授 藤井 恒男 教 授 小野 武彦 教 授 馬場 俊秀 (東京工業大学)

論 文 内 容 の 要 旨

主として石油資源を使用することによる大量生産・大量廃棄型産業は、20世紀の我々の生活文化の基盤を形成することとなり、「豊かさ」への大きな錯覚は、我々に反省と新たな行動規範及び様式を求めている。

本論文でとり上げた地域の廃食用油のリサイクルによる循環型社会創り、環境調和型産業創りは今世紀の地域社会創り及び地域産業創りにひとつの方向性を示唆するものである。

以上述べた事柄を背景に、本研究の目的を以下の1)―3)とした。

1) バイオディーゼルの潤滑特性を明らかにする。

ここでは特に、軽油および灯油にバイオディーゼルを添加したときの潤滑特性を調べ、バイオディーゼルの潤滑性向上剤としての有効性を明らかにする。

2) 油脂とメタノールからのバイオディーゼルとグリセリンを合成する固体触媒を探索する。更にこれらの生成物の収率と選択率に及ぼす反応条件の影響を調べる。

ここでは固体塩基触媒に注目し、均一系触媒に替わる不均一系触媒を調製し、その触媒としての特性を明らかにする。

3) ディーゼルエンジンの燃料と潤滑剤としてのバイオディーゼルの実用性を調べる。

ここではバイオディーゼルのディーゼルエンジン燃料と潤滑剤として、実用性を目指して、主に経済学や環境学の視点からその可能性を更に掘り下げる。

第1章緒言では、バイオディーゼルの燃料としての特性やその製造法についてこれまでの研究について述べることによって、本研究の目的を述べた。

第2章で、バイオディーゼルの燃料としての利用(バイオディーゼル100%)、軽・灯油混和剤としての利用、軽・灯油潤滑性向上剤としての利用を述べ、量的制約の観点からはできるだけ付加価値のより

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

高い商品化（潤滑性向上剤）を目指すべきであることを指摘した。特に、バイオディーゼルの潤滑効果から、低硫黄軽油・灯油への潤滑性向上剤（添加剤）としての有効性を論じた。

第3章で、これまでのバイオディーゼルの製法上の欠点であった製造工程からの排出物処理問題と、生成物と触媒との分離の問題を指摘した。これらの問題を同時に解決するため、固体塩基触媒による、バイオディーゼルとグリセリンの合成技術の利点を活かし、実用化プラントにつなげてゆくことの有用性を述べた。従来の製法では、目的生成物を製造プロセスの最終段階で分離する工程で、塩基を除去するため、水洗いして中和する必要がある。この工程で有害な副生成物（廃棄物）が大量に発生し、また、グリセリンの回収が困難になる。今日の規制の下では、廃棄物の処理費用がバイオディーゼルの価値を上まわる可能性もある。今後のバイオディーゼル製造においては、不均一系の塩基触媒プロセスによるクリーン技術を採用する時期に来ている。すなわち、不均一系触媒の利点を有効に使うことである。生成物（バイオディーゼル）の分離が容易であり、触媒が再使用可能であること、担体と活性相との境界で反応物の活性化と入れ換わりが起きるという二つの機能を合せもつことと、連続して製造できるという工程上の利点を活用できるためである。加えて、バイオディーゼルのより信頼できる実用をめざして、バイオディーゼル製品の規格化については、品質確保法遵守の立場から、日本の製品標準を早く確立すべき時期にきていることを述べた。

また、第4章では、現在の低硫黄軽油化環境において、広く用いられている潤滑性試験のひとつ、HFRR 試験の満足値について論じた。潤滑性能の確保・様々な気象条件・脱硫の過酷度などを勘案した時、主として噴射装置の安全性が危惧されていることを考慮し、現在の基準 460 μm の引き下げ（摩耗痕径合格値を小さく）の必要性和、HFRR 試験をサポートする、実車試験データに基く新しいテスト方法・基準の設定を提案とした。そして、今後、発生する環境基準遵守のための軽油低硫黄化によるコストアップの社会的費用の上昇と地方自治体の対応の在り方、地方経済の活性化の方向性に新たなベクトルを示し、実用としてのバイオディーゼルへの工学的解決（第3章）と合せて、今後のサステナブルな循環社会としてのコミュニティ再生に、大きく寄与する可能性を示した。

本論文でとり上げた、「地域の廃棄物ではなく、資源としての廃食用油」を、付加価値を高めながら、地域でフルに使い切ることは資源の環境性能をフルに利用することでもある。資源である廃食用油の回収により循環型地域社会構築の一翼をになう、という観点からは、地域の再生への一提案でもある。

生産と開発の論理に代って、地域で消費されるモノと廃棄物の物質循環を社会構造化するという新たな地域（社会）成長の論理が、地域の発展の活力の中心となる。商品のトータルなライフサイクルの過程の中から、これまで未利用でしかも新たな付加価値を生む物質の循環可能性を見直してみる必要がある。食用油の使用後のライフサイクルから生まれる新しい財としての価値を見出し、それを有効に利用することは地域に新しい価値を生む。つまり、地域の資源を有効に活用する商品 ― 地域として主張のある商品 ― を使用する時代に変わりつつあることは確かである。

本研究の成果から、バイオディーゼルの利用の可能性とその新たな社会的意義を見出した。今後、更に工学的に製造プロセスのイノベーションを推進し、地域の新たな経済価値創造産業の構築をめざすこととしたい。

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

Dr. Kielbaso ご夫妻にお会いして

丸山仁美 (78-79 Biochem)

6 月初め、MSU のファカルティーご夫婦が名古屋へいらっしゃると同窓会の今井さん、樋口さんから連絡が入り、たまたま時間のある私達夫婦が夕食をご一緒することになる。

まずは夕方お電話を入れると、ちょうどホテルに到着直後。初来日のお二人は Dr. Kielbaso ご夫妻。奥様は Educational Administration ご主人は Forestry がご専門で退職されたばかりで記念にどこかへ行こうと思ひ立たれ、来日されたとのことだった。万博へ行ってみたくてと言われるので、トヨタ館は 10 時にシニア整理券配布、アメリカ館はミシガン州からの学生がスタッフに多いことをお知らせする。イラン館のペルシャ絨毯、メキシコ館が伝統的織物などが素晴らしい事、森林ではマレーシア、ブルネイ、シンガポール感で熱帯雨林の雰囲気味わえ、フィリピン館ではバナナの葉でできた部屋でくつろげる事など、ご紹介する。

翌日 7 時にお会いする。日本食を食べてみたいというご希望なので、そば処へ。万博は思いのほか混んでいて人波にものすごく驚いたとの事。でも、マンモスもトヨタ館も見応えがあり、US 館では、ベンジヤミン・フランクリンの映像によるアメリカ史紹介に impressed! と喜んでいらっしゃった。

ご夫妻とも MSU での教員生活が 25、30 年と長く、奥様は夫と同じ教育学なので、共通の知人も判明し話はずんだ。奥様は MSU 同窓会の委員で、来年が MSU 創立 150 年なのよ。と教えて下さる。Penn State と MSU とがお互いの初 Land Grant College であると主張していること等お聞きする。Spartan 像が Stadium へ移転したと話題が出、日本の同窓会も寄付をしたこともお伝えする。再会をお約束し、次の朝は京都へ出かけられるご夫妻を早めにお宿へとお送りした。

忙しくしている日常から離れ、夫とわたしは久しぶりになつかしく MSU の風景を思い出し、MSU のめざましい発展、MSU 同窓会の皆様のご活躍に思いを馳せる機会をいただいた。ありがとうございました。



<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

"THIS YEAR'S SPARTANS COULD BE IZZO'S BEST"

After leading MSU to the NCAA Final Four for the fourth time in seven years, head coach TOM IZZO's 2005-06 Spartans return four starters that hope to win Big Ten and NCAA championships. MSU starts out the season ranked #4 in the AP media poll and was voted by the media as the pre-season favorite to win the Big Ten championship. The Spartans started the season off going 2 - 2 in games played in Hawaii but showed signs that they will be a very tough team this season.



MSU has won four Big Ten Championships in Izzo's ten seasons as head coach but has not one the title since 2001. Izzo and his returning starters are hungry to win the Big Ten title this year, which would give them a high seed in the NCAA tournament and spur them on to what could be MSU's third national championship.

This year's Spartans will have a different look than recent teams. MSU has a lot of depth although much of it is inexperienced at the big man forward and center positions while the guard and perimeter positions have less depth than last year's team. Returning senior center PAUL DAVIS who averaged 12.3 points and 8 rebounds per game played very well in last season's NCAA Tournament. His 11.6 rebounds per game led all players in the NCAA Tournament. Davis is one of the best post players in college basketball and should have a big senior season that should send him off as one of if not the best big men in MSU basketball history. Behind Davis MSU has good depth but little experience in Forwards DREW NAYMICK, MARQUISE GRAY, and GORAN SUTON, and IDONG IBOK. Also senior MATT TRANNON who is a tough athletic defensive player who averaged 3.3 rebounds last year and was an integral part of last season's Final Four run joined the basketball team in late November.

MSU has two very good athletic wing guards in senior MAURICE AGER who averaged 14.1 points and junior SHANNON BROWN who averaged 10.9 points. Izzo's loves these two players who he says are "gym rats who just love to be in the gym all day long and play the game." Ager and Brown are

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

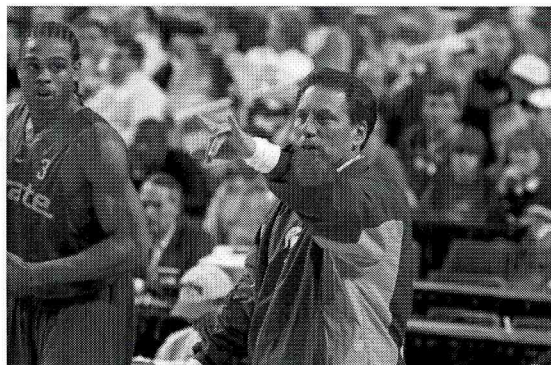
M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

the high flyers who you will see racing down the floor making spectacular dunk shots, while also making three point shots. Sophomore PG DREW NEITZEL is MSU's first true point guard since Mateen Cleaves led the 2000 Championship team. The growth and development of Neitzel this season will be important to MSU's success. While the Spartans have more depth than Izzo has ever had at the forward/center positions, at the guard positions true freshman TRAVIS WALTON and MAURICE JOSEPH from Canada will need to grow up fast and be able to give the starting guards some relief.

Davis, Ager, and Brown all have the talent to be future NBA players and they are the difference makers which could make this year's team the best that Tom Izzo has had at Michigan State. Saying that this year's team could be Izzo's best is a bold statement for a coach who won the NCAA title in 2000, but the potential is there for MSU to once again be the team cutting down the nets at the 2006 NCAA Final Four on April 3rd in Indianapolis. Indianapolis is where the Spartans won the NCAA title in 2000 and they are one of the few elite teams in college basketball who could win the championship there this season.



"COACH P HAS PUT WOMEN'S TEAM ON THE MAP"

Women's basketball head coach Joanne P. McCallie has put MSU women's basketball on the map. Last season her team led by senior PG KRISTIN HAYNIE had a school best 33 - 4 record and made the NCAA Final Four and championship game for the first time in school history. Those Spartans also won the Big Ten regular season title for only the second time in school history and won the Big Ten post season tournament championship for the first time. Kristin Haynie has left MSU for the WNBA, where her team the Sacramento Monarchs won the 2005 WNBA championship. This year's MSU team will miss Haynie but still return enough talent to be a Big Ten and NCAA title contender and was voted #2 to Ohio State in the media Big Ten pre-season poll.

MSU returns three starters from last season's championship team led by senior forward LIZ SHIMEK who averaged 14.8 points and 9.1 rebounds. Senior shooting guard LINDSAY BOWEN will move over to Haynie's PG spot and she is a good 3 point shooter who averaged 13.8 points per game last season. Junior athletic guard Victoria Lucas-Perry is also a returning starter who averaged 7.4 points last season. With the success of Coach P's recent teams better recruits are now coming to MSU

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I

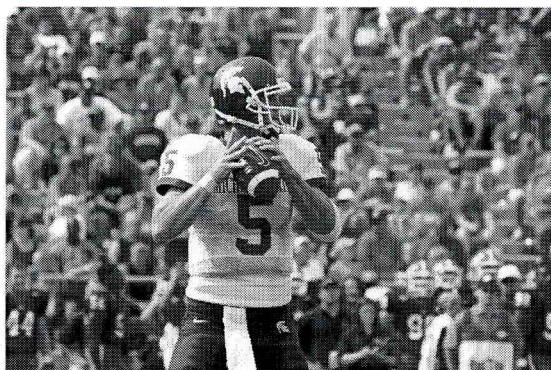


Michigan State University Alumni Club of Japan

and this year for the first time a women's McDonald's High School All American will join the Spartans in freshman guard TIFFFANIE SHIVES from Lansing who averaged 25.1 points in high school and was voted MISS BASKETBALL as the top high school player in Michigan.

"BIG QUESTIONS SURROUND FOOTBALL TEAM"

There is no question that Michigan State is one of the world's elite basketball schools. The facilities at MSU are better than those of many pro teams, Tom Izzo is a future Hall of Fame head coach that brings in and develops top players who annually contend for Big Ten and NCAA Championships. The women's team under Coach P is now also a top program that MSU Alumni can be proud of.



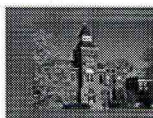
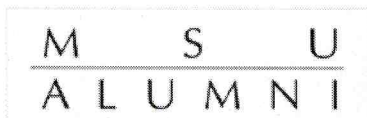
There is also no question that football is the single most important sport at MSU. Tom Izzo is one of the first to admit that. Football is important in that the revenue from the sale of game tickets, TV, and bowl games is what finances practically the entire Intercollegiate Athletic Department which includes 11 men's and 12 women's teams. MSU just spent \$64,000,000 to remodel Spartan Stadium adding luxury suites and a brand new state of the art press box. Head Coach John L. Smith just completed his third season at MSU and his three year record is 18 – 18, and MSU has not gone to a bowl game the last two seasons.

This is the first time since 1992 that MSU has missed qualifying for a post-season bowl game two straight years. Questions surround John L. Smith and whether the 57 years old coach is the right man to be the Spartans Head Coach. That question will be addressed by athletic director Ron Mason, President Simon and the MSU Board of Trustees and a change would cost MSU over \$3,000,000 to buy out Coach Smith's contract. All indications are that Smith will be given at least another season to prove that he can win.

I have followed MSU football my whole life, I won't say how many years, but it goes back to 1965-66 when Michigan State won national championships. When I grew up as a kid in Muskegon, Michigan, Michigan State was a national football power.

The 2005 season was one of the strongest I can remember. MSU football has had a Dr. Jekyll and Mr. Hyde (nijuseikaku) personality for many years. Spartan teams for a long time have been known

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>



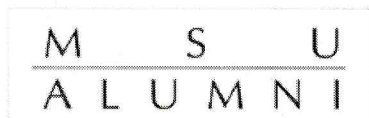
Michigan State University Alumni Club of Japan

for being able to upset top ranked teams one week only to loose to a weak team the next. This past season MSU started off 3-0, and defeated Notre Dame in South Bend for the fifth straight time in an exciting 44 - 41 overtime game. After MSU pounded a overmatched Illinois team 61 - 14 to go to 4 - 0 the Spartans rose to #11 in the national polls. People were talking about MSU as a Big Ten title contender and MSU junior QB DREW STANTON as a Heisman trophy contender. At the end of September MSU football was riding high and John L Smith was looking good.

When October came MSU was favored to beat Michigan for the first time in over 30 years but the Spartans lost a hard fought game to the Wolverines in overtime 34 - 31. Two weeks later MSU went to Ohio State to face the always tough Buckeyes and got out to 17 - 7 second quarter lead and just before halftime were driving for another score when a major turning point in MSU's season occurred. As the clock was running down prior to halftime confusion developed among the MSU coaches and the players did not receive a clear signal whether to try a field goal or to spike the ball stopping the clock. A hurried field goal was attempted without the right MSU player's being in position. The kick was blocked and recovered by an Ohio State player who ran it in 72 yards for a touchdown. Instead of MSU having a 20 - 7 halftime lead with momentum on their side the score became 17 - 14 and momentum shifted with the play to the Buckeyes. Ohio State then came out and outscored MSU 21 - 7 in the second half to win the game 35 - 24 sending the Spartans home with their second straight loss. The Spartans were shocked leaving Columbus they had outplayed the Buckeyes gaining 27 first downs to 13 for OSU, 456 yards to 386, held the ball for 40:19 - 19:01, and MSU had won the turnover battle recovering four OSU fumbles. Even with the statistical edge MSU still lost the game and the confusion within the coaching staff that led to the blocked field goal before halftime was clearly the turning point in the game. Looking back on the season that was also the turning point in the season as an energetic confident football team lost it's pulse and returned to MSU only to get smashed on homecoming to Northwestern 49 - 14. The Spartans came back to beat an over matched Indiana team to finish 1 - 4 in the month of October.

November is the month which separates the good teams from bad. Good teams improve each week, win games and go on to play in bowl games, bad teams fail to improve loose games and end their seasons early. In November MSU needed just one win in three games to qualify for a post-season bowl game but it didn't happen as the Spartans lost to Purdue, Minnesota, and Penn State to finish the season at 5 - 6. November has not been a good month for recent MSU football teams, in three years under John L. Smith MSU is 2 - 9 in games played in November. Including previous head coach Bobby Williams, MSU is just 5 - 23 the past six years in regular season games played after October 30.

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>



Michigan State University Alumni Club of Japan

A 500 record at Michigan State won't cut it. Michigan State should be in the upper division of the Big Ten Conference, needs to go to bowl games on a regular basis and at least challenge for Big Ten Championships two or three times every ten years. One key ingredient to football success is stability of the coaching staff and that has been a problem at MSU. We have had 7 head coaches since Duffy Daugherty retired in 1972, Michigan has had only three head coaches over the same period of time. I don't know if John L Smith is the answer, his 500 start over his first three years shows no improvement. The way his team started strong and collapsed this season is disturbing and raises serious questions as to whether MSU should retain him. Some will say he needs more time to prove himself and I think he does. This is a tough question for the MSU administration with big financial ramifications for the university, it is not just a question about a sports team winning and losing games.

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>



アメリカ大学留学フェア

11月3日(木) 池袋サンシャインシティ文化会館でアメリカ大学フェアが開催されました。例年続いているアメリカの大学に入学を希望する学生に対しての合同説明会ですが、今年はMSUからの代表が来日できないことから同窓会の幹事がお手伝いをさせていただくこととなりました。当日は午後1時から6時までの間に約100名の学生の方々がMSUのブースを訪れ、MSUについての説明を受けました。このフェアは10年来続いています。最近の傾向は日本の大学在学中に1年間だけ留学したいという希望の方が多いことです。これについてはかなり問題があり、MSUと日本の大学の間に単位の交換プログラムがあれば可能なのですが、それ以外の場合は1年間だけの留学をMSUが受け入れ、さらに単位を日本の大学が受け入れるかという障害があります。今回幹事会として正式に Admission Office の Barbara Kolar さんにこの問題をお尋ねしました。基本的には Lifelong Education の位置付けとなり、履修に制約が出るとの回答がありました。先方からの回答を掲載させていただきましたのでご参考になさってください。

また、International Development や International Aid、International Policy Making と言った分野についての問い合わせが多くなっています。学際的な側面と科学やビジネスなどあらゆる専門的な分野での関与が考えられることから、これらについての質問については直接 Admission Office に問い合わせをしていただくようにしています。単純に Development とか Aid と言われても学生自身にとってどの分野での貢献を目指しているのかが決めきれずにいる場合も多く見受けられます。

また、留学のために必要な TOEFL の最低限必要な点数ですが、MSU からのマニュアルによりますと現在 213 点 (新方式による採点で、従来の方式ですと 550 点に相当します) と伝えられてきています。(a minimum computer-based TOEFL score of 213 with no subscore below 19; a minimum SAT verbal score of 480; or a minimum MELAB average score of 83 with no subscore below 80) これ以下の点数ですと provisional status として入学が認められる場合があります。セメスター制になり願書の締め切りについてのお問い合わせが多くありますが、留学生に対しては学部の場合 11月1日までに提出して欲しいと言われています。提出後 8 から 12 週間で結果が通知されることとなりますが、原則的に願書が到着してから順次入学を決定していくことから、枠が埋まらない場合は 11月1日以降でも願書を受け付けています。いわゆる First Come First Serve です。ご留意ください。また、Graduate の場合は学部・学科によって願書の締め切り時期が全くばらばらですので直接お問い合わせください。尚、このフェアで真剣に MSU への留学を希望されている学生の方々についてはご連絡先を教えてください、Admission Office からフォローをさせていただくことになっています。同窓会では今後も MSU で勉強しようとする意欲のある学生を応援していきたいと思っています。是非皆様のご協力をお願いする次第です。アメリカ留学フェアの HP をご参考までに以下に記載させていただきましたのでご覧ください。

http://www.buyusa.gov/japan/ja/univfair_e.html

<http://www.fulbright.jp/j4/fair.html>

また、以下の MSU への報告が記事として MSU Alumni Association ホームページの International Clubs

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>



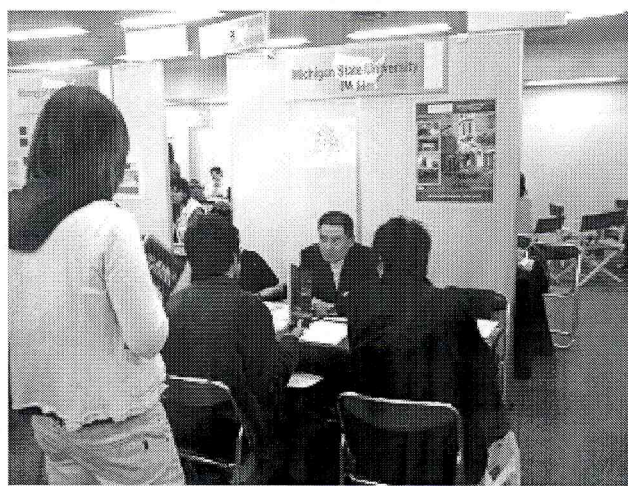
に掲載されました。

Japan ... Keiichi Higuchi of the MSU Alumni Club of Japan sent the following Admissions report to Barbara Kolar of the MSU Admissions office: Dear Barbara, "A U.S. University Fair was held on Nov. 3, 2005, at Ikebukuro in Tokyo. Ms. Fumiko Masuzawa (Linguistics) and Mr. Tadahiro Nakaya (Advertising) joined me to explain MSU programs to prospective students. The names of students seriously interested in studying at MSU was forwarded. MSU was one of the most popular schools for students attending the event. An extra chair was added in order to process the lines at our booth. Eventually, we met approximately 100 students during the 5-hour period (from 1pm to 6pm) without any rest. Each student received approximately 10 minutes of explanation and consultation from our representatives. A total of 43 schools participated to this fair in Tokyo." Some photos were taken at the fair and one is posted on the MSU international alumni photo gallery.

会場入口に掲示された看板



説明の順番を待つ行列ができました。



Admission Office の Barbara Kolar さんからの一年間短期留学についての回答です：

The student situation below, the student would need to apply for the J-1 non-degree student visa. Office for International Students and Scholars can issue the DS2019 (immigration document needed to apply for the J-1).

Thank you.

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

From: Kolar, Barbara

Sent: Tuesday, November 15, 2005 10:05 AM

To: 'Keiichi Higuchi'; Nakaya@asahi-ad.co.jp; kolarba@pilot.msu.edu;

masuzawa@swu.ac.jp

Subject: RE: Question

Dear Keiichi,

This is a good question.

Students can apply to MSU as lifelong education student- attending MSU for one semester, up to two semesters as a non degree status. The issue with this is the student would not be eligible to study course work from all academic disciplines. For example, the College of Business will not allow students in the lifelong status to take any Business courses (only students admitted in the degree granting Business program have access to upper level business courses). Therefore, due to the limited enrollment

nature of some of the academic programs, students on lifelong status wouldn't have access to all classes. Therefore, the program doesn't work for all students.

The students would need to complete the lifelong application on line. They would need to show English language proficiency information. The university would have the English language center and Office for International Students and Scholars sign off that everything is appropriate with immigration. From there, MSU would send material to the students explaining the enrollment process.

Please let me know if you have any additional questions.

Thank you.

Barbara

Barbara L. Kolar

Assistant Director for International Admissions

Office of Admissions & Scholarships

250 Administration Bldg

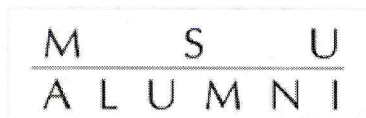
Michigan State University

East Lansing, MI 48824 USA

(517) 355-0333 Fax: (517) 432-0787

kolarba@msu.edu <http://www.msu.edu>

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>



Michigan State University Alumni Club of Japan

事務局からのお知らせ

1. 年会費納入のお願い

2006年度の同窓会年会費の振込用紙を同封させていただきました。お手数ですが郵便振替にて年会費3000円を送金くださいますようお願いいたします。

2. 住所の変更とご友人の住所について

年末ということでクリスマスカードや年賀状の準備をされていることと思います。ご友人の方で住所変更などなされた方がいらっしゃいましたら、巻末のあて先不明の方々のリストとご照合の上、事務局へご一報いただければと思います。ニュースレターをお届けさせていただきます。

また、当然ですがご自身が転居などをされた場合もお知らせください。

3. 2005年度総会

6月26日（日）午後4：00から港区のキャピトル東急ホテルにて同窓会総会が開催され2004年度の決算と2005年度の予算が承認されました。今年MSUからはゲストとして Lou Anna Kimsey Simon 女史が来日され参加した約40名のメンバーと親しく懇談されました。MSUが創立150周年という記念すべき年に新たに発展している様子が学長からスライドを使って約30分間にわたり丁寧に説明されました。“Team MSU”が次の時代を切り拓いていくという言葉が大変印象に残りました。準備などの都合上東京でしか総会が開催されない状況ですが、各地区での同窓会の開催については事務局でも前向きに考えています。ご友人などで集まり検討される際には是非とも事務局にもご一報ください。北海道・九州両支部での会合も来年2006年には是非とも実現したいと思っています。



<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

4. Dr. Helen S. Dashney 来日

9月7日(水) Dr. Helen S. Dashney (Director, Corporate Academic Relations The Eli Broad College of Business) がご夫妻で来日されました。当日は時間が限られていたためにビジネススクールの卒業生4名が集まり、パレスホテルで懇談することとなりました。ここ数年ビジネススクールのMBAプログラムでは日本人の学生が一人もいないという状況であることが報告され、一同大変驚きました。(この9月から2名の日本人が入学されたようですが) MSUの国際的な側面を維持・向上させるためにも日本人学生の入学が望まれます。



写真左から Braeden Reif, Scott Smalley, Shawn Beilfuss, Helen Dashney, Keiichi Higuchi, Mr. Dashney の各氏



DEDICATION 2005 New Spartan Statue

Saturday, October 8, 2005 • 4:00 p.m.

Master of Ceremonies - David Brown, MSU Alumni Association

OPENING FANFARE - Spartan Marching Band

REMARKS

The Honorable David Porteous Chairperson, MSU Board of Trustees

Lou Anna Kimsey Simon, Ph.D., President, Michigan State University

Michael Hanak, Student, Student Alumni Foundation

Dr. Jacqueline D. Taylor, MSU Alumni Club of West Michigan

Steve and Millie Smith, The Sparty Project Co-Chairpersons

ACKNOWLEDGMENTS

Leo Cropsey, DVM was chosen by Dr. Hannah as the student to pull the cord at the original Spartan Statue Dedication on June 9, 1945. Dr. Cropsey was cited by Hannah as Michigan State's First Dual Major undergraduate

Ms. Alessandra Ayers, daughter of Professor Leonard Jungwirth, the artist commissioned by President Hannah to create the original Spartan Statue

MSU SHADOWS - Spartan Marching Band



HISTORY OF THE Spartan Statue

Leonard D. Jungwirth, Michigan State College assistant professor in the Department of Art and Art History, created The Spartan in 1945. The statue is constructed of three large, glazed terra cotta day sections that were fused together on site and filled with a poured concrete core. After World War II, metal was unavailable, so terra cotta was used.

The Spartan is believed to be the tallest, free-standing terra cotta sculpture in the world at 9 feet 7 inches. The original sculpture has a weight of 6,600 pounds.

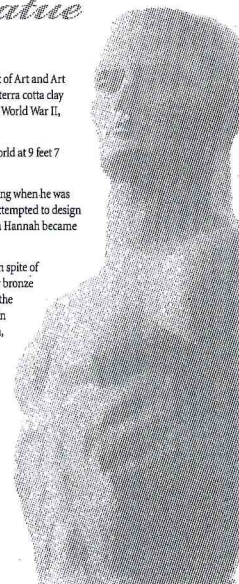
The idea of a statue was conceived in 1932 by then MSC Athletic Director Ralph Young when he was visiting the University of Southern California and saw their Trojan statue. Students attempted to design a Spartan statue, but the project failed. Nothing more was done until 1941 when John Hannah became president of MSC, and he asked Jungwirth to undertake the design of the sculpture.

After 60 years of exposure to Michigan's weather, the original sculpture was falling in spite of annual upkeep. Molds were made directly from the original sculpture to cast the new bronze statue. On May 11, 2005, the original sculpture was moved to the new atrium area of the Football Stadium addition. The new bronze sculpture was cast at Artworks Foundry in Berkeley, CA and weighs approximately 1,500 pounds. It was installed on August 10th, 2005, at 8:34 a.m.

On June 9, 1945, President John A. Hannah dedicated the original sculpture. (The program appears at the end of this booklet.) Students Leo "Mac" Cropsey and Susan C. Averill were selected to assist with the unveiling.

Thanks to the gifts of many, over \$575,000 was raised for the casting of the sculpture, the creation and landscaping of the plaza area and for an endowment ensuring the care of both sculptures in perpetuity.

GO GREEN

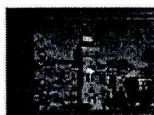


銅像除幕式のプログラム

(原 清 さん 提供)

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

宛先不明の方々のリスト（ご存知の方は事務局までご一報下さい）

氏名ローマ字	氏名	旧姓	在学（最終年）	専攻MK
ACHIHA YOSHINOBU	▲阿知波 吉信		1992	
ADACHI TOSHIHISA	▲足立 紀尚		1966	
AIKYO MIKIKO	▲相京 美樹子			
AKAEDA BENIKO	▲赤枝 紅子			
AKASAKA IZUMI	▲赤坂 泉		1982	
AOKI HIROSUKE	▲青木 宏祐		1979	
AQUINO MA LIGAYA L.	▲AQUINO MA LIGAYA L.			
ARAI MASATOSHI	▲新井 雅敏		1976	
BEEBE, JACQUELINE D.	▲ジャクリン・D・ビービー		1978	BA
BOPRY JEANETTE	▲BOPRY JEANETTE			
COOPER, DANIEL	▲ダニエル・クーパー		1990	
EGAWA YOSHIKUNI	▲額川 義邦			
FUJII MAI	▲藤井 まい			
FUKAZAWA YURI	▲深澤 ゆり		1992	MA
FUKUI MARI	▲福井 真理			
FUKUI MASAYUKI	▲福井 正幸		1987	
FUKUSHIMA YURIKO	▲(S)福島 由利子		1966	MA
FUTATSUYA KOJI	▲二谷 廣二		1974	
HIGGINS, KELLY G.	▲HIGGINS, KELLY G.		1987	
HIRANO KIYOSHI	▲平野 清		1975	
HIRONAO TAKESHI	▲廣直 武司		1968	
HISATAKE TETSUYA	▲久武 哲也		1981	
HODGES, ETHEL J.	▲ETHEL J. HODGES			
HOFFMAN, GEOFF	▲ジェフ・ Hoffman		1989	
HOIZUMI WAKAKO	▲保泉 和香子			
IKEDA MASAYUKI	▲池田 雅行		1992	MA
INOMATA NORIO	▲猪股 典夫			
IWASAKI MASAKAZU	▲岩崎 正和		1986	
IZUMI NORIO	▲泉味 紀男			
KAI KATSUKO	▲甲斐 捷子		1974	
KAWACHI KIMIE	▲河内 公恵		1993	
KAWAGOE MEGUMI	▲川越 恵	吉田	1981	

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I

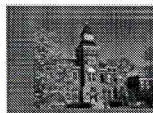


Michigan State University Alumni Club of Japan

KAWAI NOBUO	▲河合 庸夫		1992	MA
KAWAMURA KAZUYO	▲川村 一代		1991	MA
KAWAMURA NAOMI	▲川村 尚美		1978	
KAZUMATA KEIKO	▲数又 景子		1993	
KIDO KEIKO	▲木戸 恵子		1981	
KIKUCHI KUNIHICO	▲菊池 邦彦		1968	
KIMATA SHINGO	▲木全 真吾		1996	MA
KIMURA TAKESHI	▲木村 武史			
KITSUDA MASAOKI	▲橋田 政明		1965	
KOBAYASHI KIYOKO	▲小林 清子		1990	
KOBAYASHI NAOMI	▲小林 なおみ		1986	
KOBORI KOJI	▲小堀 孝司			
KUROBE KAORI	▲黒部 香織		1991	
LAWSON, ANDREW J	▲ANDREW J. LAWSON		1995	
MAEKAWA SATOSHI	▲前川 恵士			
MATSON, SCOTT D.	▲スコット・マトソン		1993	
MATSUMOTO RUMIKO	▲松本 留美子	佐藤		
MAYES, PAUL G.	▲ポール G メイズ		1980	
MINOURA NAOYA	▲箕浦 直哉			
MITA TAKANORI	▲三田 高敬			
MITSUBAYASHI YASUO	▲三林 泰夫		1984	BA
NAKAJIMA NAOKO	▲中嶋 尚子	永田		
NITTA SHUJI	▲新田 修司			
NOGAMI YOSHIKO	▲野上 佳子			
NONAMI KAZUYOSHI	▲野波 和朗			
OKUMURA SHINJI	▲奥村 信史		1976	
ONIKI SHUNJI	▲鬼木 俊次		1996	Ph. D.
ONO KAZUHIRO	▲小野 和広		1986	
OOSAKO TOSHIO	▲大迫 俊夫			
OSHIO KEIKO	▲大塩 恵子		1984	
OWAKI RIE	▲大脇 理恵		1992	MA
OZAWA MICHIIRO	▲小澤 美智祐		1985	BA
SAHARA AKIKO	▲佐原 彰子		1992	MA
SAKAGUCHI HIRONOBU	▲坂口 祐信			

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

SAKAI YUKI	▲坂井 由紀		1991	
SAKATA IKUKO	▲坂田 郁子		1994	
SASAKI HIROSHI	▲佐々木 弘		1969	Ph. D
SHIMA TADASHI	▲嶋 正		1997	Visiting Professor (Scholar)
SHIMADA MICHIO	▲島田 道雄		1996	
SMITH TOMOKO Y.	▲SMITH TOMOKO Y.			
STASEVICH GEORGE	▲STASEVICH GEORGE			
STEPHENS, TANYA	▲STEPHENS, TANYA			
SUZUKI NORIO/KUMIKO	▲鈴木 範夫・久美子			
TAKAHASHI TUNEYASU	▲高橋 常泰			
TAKEMOTO YOSHIJI	▲竹本 芳司		1969	
TANI DAISUKE	▲谷 大輔			
TORIYA SATOSHI	▲鳥谷 聡			
UEHARA IWAO	▲上原 巖			
WATANABE KATSUYA	▲渡辺 克也		1987	
WATANABE MAMI	▲渡辺 真美		1991	
YAMAMOTO HIROSHI	▲山本 裕			
YAMANAKA SHUZO	▲山中 秀三		1970	
YASUOKA TOSHIKAZU	▲安岡 俊和			
YODER, ROGER	▲YODER, ROGER			
YONEZAWA ICHIRO	▲米沢 一郎			
YUKI KENICHI	▲幸 憲一		1993	BA

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan

編集後記

もう 2005 年も終わりが近づいてきました。日本経済は回復基調と言われてますが、経済はすべて世界動向に左右され日本だけが良いなどということはない時代になりました。アメリカの消費、中国経済、中近東のオイルマネー、テロの恐怖と様々な要因があり、いつ世界が大きく揺れ動くかわからない状況です。小泉自民党圧勝の日本でしたが、今後のかじ取りには充分注意をして方向性を見極める必要性が求められます。総中流社会から、勝ち負けのはっきりした社会への移行とも言われています。株長者が増え、ヒルズ族などともてはやされていますが、日本経済を支えているのは、紛れもなく製造業であり、中小、零細企業の努力です。いったいいつになったら縁の下の力持ちに光が当たるときが来るのでしょうか。中小企業の社長という立場にある自分にとって、今後の展開をどうすべきか悩む毎日です。

MSU 同窓生の皆様にとって来年がより良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

ミシガン州立大学・日本同窓会スタッフ

担当	氏名	連絡先
代表幹事	今井哲哉	tetsuya@imaico.co.jp
事務局	樋口恵一	SGB00033@nifty.ne.jp
監査役	増澤史子	masuzawa@swu.ac.jp
会員拡大・HP	中谷忠宏	Nakaya@asahi-ad.co.jp
地域部会	芦澤芳郎	Ashi502@aol.com
北海道地区担当	藤本征一郎	
九州地区担当	百武省彦	ANA17776@nifty.com
MSUリエゾン	ビル・マークレビッツ	bill@noramsports.com
総会	古市 尚	furuichi@feast.to
総会	上田義則	ueda@mcpackaging.co.jp
会報	長島祐司	yuji@nagashima.co.jp

<http://www.msu.edu/~msuaa094/>

M S U
A L U M N I



Michigan State University Alumni Club of Japan